

# 「行政視察報告書」(視察・調査の経過及び感想)

日 時 平成28/5/25(水)～27(金)

## 1. 視察・調査の経過及び感想について

### (1) 福井県福井市 5/25(水) 15:00～16:30

#### 「学力向上」について

JR倉吉駅を午前8時12分出発、途中列車トラブル(神戸付近の信号機トラブルにより運転士が到着しない:智頭急行とJR西日本の相互乗り入れのため)もあり、JR福井駅に午後2時半頃到着、地図で見る以上に遠いことに妙に感心。恐竜の彫刻やパネルを横目に福井市役所に向かう。約10分で到着。

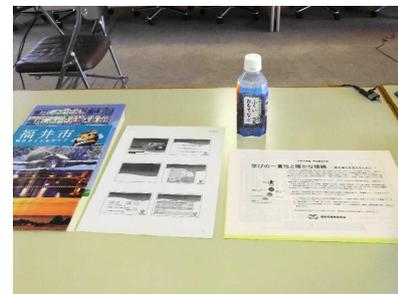
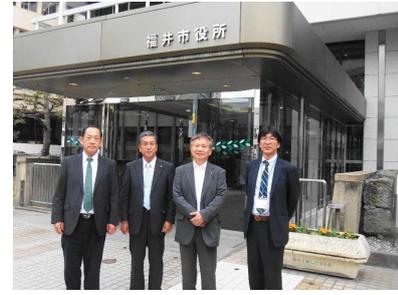
福井市議会事務局 峠尚太局長はじめ事務局職員の出迎えを受ける。あいさつの後、福井市教育委員会事務局 学校教育課指導主事 秦計代氏より「福井市の学校教育」のプレゼンを交えた説明を受け質疑をする。福井市は全国学力学習状況調査で常に上位に位置し、鳥取県も「福井方式」に学べというほどこの面での先進地である。

・ふるさと学習、立志式、2学期制、人的条件の整備(教育相談関係、チャレンジ教室、ライフパートナー、いきいきサポーター 等)

・中学校区教育について(縦:保幼小中、横:地域との連携 等)

・学力の状況と取組(調査研究委員会、県独自の学力調査、授業づくり、縦持ち、教職員人事異動(小・中・特別支援の異動が全体の約25%)、家庭学習の多さ、家庭との連携・信頼関係 等)についてであった。

説明・質疑を通じて感じたことは、やっていることの違いではなく「徹底してやっていること」「自信を持ってやりきり、信頼を受けている」ことであった。「先生方は大変ではないですか?」という質問に対し、「それが当たり前だと思っているし、結果として子どもが育ち、認められていれば疲れたとは思わない。」という指導主事の言葉に感心させられた。



### (2) 石川県七尾市 5/26(木) 10:30～12:00

#### 「地域包括ケアシステム構築に向けた取組」について

視察に要する距離が長い前日のうちに金沢市までJRで移動。金沢駅から七尾駅まで約50分。駅から徒歩で七尾市役所へ。市役所には約束の時間より早く着いたが、議会事務局主幹 斎藤裕樹氏の出迎えを受ける。6月議会前ということもあり、七尾市でも諸会議が行われていたようであった。無理をお願いしての視察であり、感謝して視察会場に向かう。会場でしばらく待機した後、七尾市議会議長 垣内武司がお見えになる。

あいさつの後、垣内議長より七尾市の概要についての説明を受ける。説明では七尾市は、平成16年10月1日市3町が合併し新生七尾市として一步を踏み出した。面積318km<sup>2</sup>、人口約5万5000人で面積、人口ともやや倉吉市を上回っている。少子高齢化が進んでおり、65歳以上の高齢化率は30%を超えている。市内には全国的に有名な和倉温泉や



リゾート施設を有する能登半島など観光資源にも恵まれている。また、様々なまつりや伝統行事などのある歴史と文化のまちであるとのことであった。

引き続き、七尾市健康福祉部保険課職員と福祉課職員によるプレゼンテーション及び質疑に移る。「七尾市あったかプラン」に基づく七尾市老人福祉計画、七尾市介護保険事業計画の説明を受ける。地域包括ケアの推進として、介護予防の推進(生涯学習、老人クラブ等活動、生きがいづくり)、疾病予防・健康づくり(生活習慣病の早期発見や予防、介護予防)、生活支援、在宅医旅・介護連携、医療機関との連携などについて質問及び意見交換を行う。

高齢化の進行により医療費や介護費用の増大は切実な問題である。そのための予防策が必要となっている。「貯筋体操シリーズ」や「こもりさんの身体ほぐしタイム」「介護予防グループディ(地域介護予防活動支援事業)」等々参考になる事例も多かった。



### (3) 滋賀県東近江市 5/27(金) 10:00~12:00 「学校の統廃合」について

前日、石川県七尾市から滋賀県東近江市へ移動。JR琵琶湖線、近江鉄道八日市線を経由、八日市駅からタクシーで東近江市へ到着。東近江市議会議長 周防清二氏、同政策監 藤田善久氏、同教育委員会教育課課長 大辻利幸氏らの出迎えを受ける。

周防清二氏より歓迎のあいさつと東近江市の概要の説明を受けた後、藤田善久氏と大辻利幸氏より学校統廃合についての説明を受ける。東近江市は平成17年・18年に八日市市と周辺4町が合併して出来た市である。八日市市という名前を見聞きした覚えはあったが、東近江市という名は馴染みがなく、合併にあたっては市の名前で苦勞されたことも伺った。人口115700人、総面積389km<sup>2</sup>である。西は琵琶湖、東は三重県境、北は彦根市、南は甲賀市に接している。市役所のある八日市周辺は人口が増加しているが、東の山間部はかなり過疎化が進んでいる。八日市地区では学校の分離が行われた一方、山間部では児童数の減少が顕著(平成20年度政所小学校13人、甲津畑小学校29名)で複式学級となって職員配置も支障が出ていた。そのため、近くの山上小学校に統合した。

その間、地域の声を吸い上げるための自治会役員会、総会を7回、PTA・未就学児保護者の会合7回、統合検討委員会(PTA10名で構成)を16回持つなど周到な準備を行っている。また、素案から草案に至るまでの内部的な詰めの作業もしっかりと行って、様々な角度から学校統合が行われたことが理解できた。



## 2. 視察・調査を終えて

「視察・調査の経過及び感想について」に載せたことはもちろん、他にも沢山のことを学ばせて頂きました。6月議会前という多忙な時期にもかかわらず、われわれの視察に対し時間を割き対応していただいた福井市、七尾市、東近江市の関係者の皆様、到着から出発まで「おもてなし」の心で細やかな心配りをして頂いたことに感謝いたします。

視察を通して本市に還元できることを取り入れ、市民の皆さんにお役に立てるよう精進いたします。ありがとうございました。